

メーデー宣言

わたしたちは本、第81回埼玉県中央メーデーを迎えた。

今日、労働者を取り巻く現状は依然として厳しい。日本経済は、まさに「底割れ」した状況に陥り、多くの国民が生活や将来への不安感を抱えている。

今、私たちに求められているものは、あらゆる人に公平で公正な権利が保障される社会の構築である。政権交代が実現した今こそ、社会全体の価値観の転換をはかり、すべての労働者に対して雇用と生活、健康、安心、安全のためのセーフティネットが張り巡らされ、誰もが希望と安心が持てる社会を構築するための政策を実現していかなければならない。そのためにも、わたしたちは次期参議院選挙で推薦候補者の必勝を期す必要がある。

一方今年は、平和運動において、重要な年である。5月ニューヨークで核拡散防止条約（NPT）の再検討会議が開催される。わたしたちは、核兵器廃絶1000万署名の国連提出を実施し、NPT再検討会議での実効ある合意形成を目指す。

また、日米安保条約改定50年の今年、連合本部及び関係団体と連携して、長年の課題である米軍基地の「整理・縮小」と「日米地位協定」の抜本改定を求めるとともに、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現のため、平和集会等へ積極的に参加し、訴えていく。

メーデーは国際連帯の日である。わたしたちは、「国際労働組合総連合（ITUC）」と連携し、世界の貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロをなくすため、また、「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」の実現のために闘っていく。

今こそ、すべての働く者の連帯と、NPOや市民団体との連携で「平和・人権・労働・環境・共生」に取り組み、労働を中心とする福祉型社会と自由で平和な世界を実現することを宣言する。

社会の底割れに歯止めをかける、雇用を確保・創出する政策制度を実現し、働くものの生活を守ろう！

2010年4月29日
第81回埼玉県中央メーデー